



パロディ頭狂村村長選

頭狂村の副村長猪崎氏は村長選立候補に際し考えた。「自明党公民党に挨拶に行く時、札束なしでは・・・どうするか?。損州会の例の件で、後で五つくれる約束だったぞ。今がその時」

猪崎氏からの電話を受けた損州会の損田議員は「足がつかぬよう、貸すことにする。貸金庫を用意しろ。そこに入れたことにすれば、それでも大丈夫」そして、まんまと当選。

ところが、損田議員にからみ損州会にガサ入れ。

慌てた猪崎氏、大慌てで損田議員に電話。「返したいが、自明党公民党に配ったから返せない」「手ぶらですぐ来い」

猪崎氏が損田議員事務所に行くと、借用書が作ってあった。返済期限にも、利息にも、

担保にも触れていない。収入印紙もない。(印紙税の脱税?)判子を押ししたら損田議員は「持って帰れ。返したことになるから」と。

さて、議会で各党は猪崎氏をつつく。「選挙資金ではない」「貸してくれるのを断るのも」「生活に不安が」更に追及されて「給料一年返上」え?生活が不安だったんじゃないの?それにしても、二〇〇二年に工事発注先から九九万借りの職員は懲戒免職になったのに。猪崎氏が借りた」と云うのは副村長時代。遡って懲戒免職にしたら?

「あまりいじめると誰にいくら回したか喋るぞ」が猪崎氏の切り札だ。

これは全て天空島のお話です。地上の話ではありません。

牛窓の井戸

岡山県瀬戸内市



岡山写生会で牛窓に行った。古い町並みを歩いていると、路地の傍らに、井戸。脇には水神様が祀ってあった。

牛窓は左の図で赤く囲った所。その北の青く塗った所は錦海湾であったが、江戸時代に干拓され塩田に。今は田畑になっている。

つまり牛窓は南北が海の半島。その為、大きな川は無く、水が貴重だったのだ。

牛窓には他に朝鮮通信使ゆかりの御茶屋井戸がある。私は、庶民が使ったこの井戸に親しみを感じた。